



第 4 回早稲田 ORIS 若手セミナー

本セミナーでは、「権威主義体制下における選挙」をテーマとする。報告①は、政治指導者が選挙前の社会運動および選挙の競争性を容認するか否かが、市民の選挙参加にどのように影響を与えるかを、アフリカ諸国を例にとり考察する。報告②では、従来、外圧の帰結と見なされてきた権威主義体制下における選挙導入という現象を問い直す。体制リーダーの権力独占度に着目し、ときに指導者自身が選挙を導入する動機を有することを明らかにする。

司会: 安井清峰 (早稲田大学 ORIS 研究員)

報告①18:00 ~ 18:45 (45 分)

“Electoral Participation in Authoritarian Regimes: The Impact of Social Movements in Africa”

長辻貴之 (早稲田大学 博士後期課程)

討論

粕谷祐子 (慶応義塾大学 法学部 教授)

報告②18:45 ~ 19:30 (45 分)

「権威主義体制下における選挙導入-リーダーの権力独占と選挙」

門屋寿 (早稲田大学 博士後期課程)

討論

大槻一統 (早稲田大学 高等研究所 助教)

質疑応答 19:30 ~ 19:40 (10 分)

日時: 2017 年 7 月 24 日 (月曜日) 18:00 ~ 19:40

会場: 早稲田大学 26 号館 1102 教室

言語: 日本語 (質疑は来場者に応じ英語も可)

お問い合わせ: 早稲田 ORIS 研究員グループ oris-rs@googlegroups.com